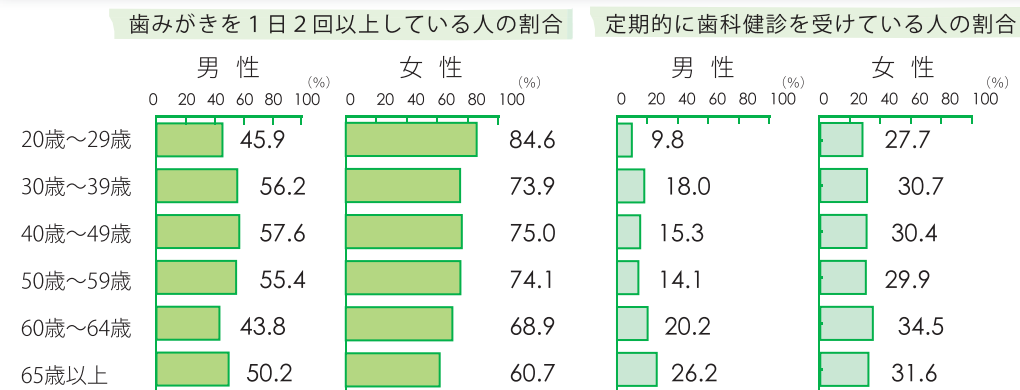


歯と口腔の健康づくり



お口の健康を保ち、歯を大切にしましょう



個人・家庭の取り組み

妊娠期・乳幼児期 (0～5歳)

親子でお口の管理に努めましょう

- 生活のリズムを整えましょう。
- 親子で歯みがきをしましょう。
- おやつ選びを工夫しましょう。

児童期・思春期 (6～19歳)

よくかんで食べましょう

- 1日3回、毎食後に歯みがきをしましょう。
- お口の健康に関心を持ち、むし歯や歯肉炎(歯周病)の正しい知識を持ちましょう。
- 治療が必要な場合は、早めに受診しましょう。

青年期・壮年期・高齢期 (20歳以上)

かかりつけ歯科医で定期健診を受けましょう

- 歯周病について正しく理解しましょう。
- 口腔疾患と全身疾患の関係について理解しましょう。
- かかりつけ歯科医をもち、定期健診・歯みがき指導を受けましょう。

関係機関・地域の取り組み

- 医歯薬が連携しましょう。

行政の取り組み

- かかりつけ歯科医をもつよう啓発する。
- おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。
- 8020運動を普及する。

数値目標	対象	計画策定時現状値	平成28年度(目標値)
むし歯のない子どもの増加	3歳児	82.4%	90.0%以上
	児童(小学校3年生) <small>(6歳臼歯のう蝕なしの割合)</small>	89.8%	95.0%以上
定期的に歯科の健康診査を受けている人の増加	成人	26.2%	35.0%以上
歯みがきを1日2回以上している人の増加	成人	61.9%	75.0%以上

がん

(たばこを含む)

広げよう いのちを守る がん検診

大切な人をたばこの煙から守りましょう

個人・家庭の取り組み

妊娠期・乳幼児期 (0～5歳)

子ども、赤ちゃんを副流煙から守りましょう

- たばこの胎児や妊婦への害を理解し、妊婦又はその周囲でたばこを吸わないようにしましょう。
- 誤飲事故を防ぎ、たばこに対する親近感を持たせないために、子どもの前では喫煙しないようにしましょう。

児童期・思春期 (6～19歳)

たばこの“怖さ”を知りましょう

- 子どもの頃から、たばこの害と依存性について学びましょう。
- 大人は、子どもの前でたばこを吸わないようにしましょう。

青年期・壮年期・高齢期 (20歳以上)

定期的にがん検診を受けましょう

- がん予防についての理解を深め、得た知識を実践しましょう。
- 早期発見、早期治療の大切さを知りましょう。

禁煙活動を推進しましょう

- たばこが身体に及ぼす影響と、依存性について知りましょう。
- 副流煙の害について知り、たばこを吸う時は周囲に気を配りましょう。

関係機関・地域の取り組み

- 職場(事業所)は、働き盛りの人たちが受診しやすいよう環境を整えましょう。
- 職場(事業所)、商業施設は、分煙を進めましょう。

行政の取り組み

- 検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。
- 早期発見・治療の重要性について、知識の普及・啓発をする。
- 家庭訪問や乳幼児健診等の機会にたばこ・副流煙の害について知識を普及する。
- 学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。

数値目標		対象	計画策定時現状値	平成28年度(目標値)
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識をもっている人の増加	がん	成人	76.1%	100.0%
	妊娠に関連した異常(早産・低体重児など)	成人	51.6%	100.0%
	歯周病	成人	19.2%	70.0%以上
妊婦の喫煙者をなくす		妊婦	6.1%	0.0%
市で実施しているがん検診の受診率の増加	胃がん検診	成人	14.0%	増加
	大腸がん検診		15.4%	
	肺がん検診		16.4%	
	乳がん検診		30.1%	
	子宮がん検診		22.9%	